



組織で支える「絆づくり」と「居場所づくり」 チーム学校による生徒指導体制 ～アセスメントの実施に向けて～

西部教育局
お役立ち情報
令和8年6月号

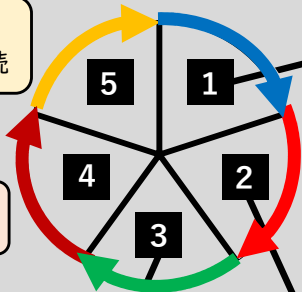
担任一人ではできないことも、他の教職員や多職種の専門家、関係機関がチームを組み、アセスメントに基づいて役割分担をすることで、指導・援助の幅や可能性が飛躍的に広がります。児童生徒一人一人への最適な指導・援助が行えるように、それぞれの分野の垣根を越えた包括的な支援体制づくりを行いましょう。

チーム支援のプロセス

(困難課題対応的生徒指導及び課題早期発見対応の場合)

⑤点検・評価に基づく
チーム支援の終結・継続

④チーム支援の実践



①チーム支援の判断とアセスメントの実施



課題の解決に向け、校務分掌や学年を横断したチーム支援の必要性について検討する。

児童生徒の課題解決に向けて、関係する複数の教職員等が参加する、アセスメントのためのケース会議を開催します。課題に関連する問題状況や緊急の対応を要する危機の程度等についての情報を収集・分析・共有し、課題解決に有効な支援仮説を立て、支援目標や方法を決定するための資料を提供し、チーム支援の必要性と方向性について判断します。

③チーム支援計画の作成

②課題の明確化と具体的な目標の共有

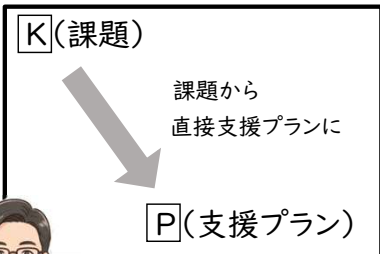
アセスメントの際は、「課題を抱えるすべての子に、その子にあった支援をチーム学校として行う」ための鳥取県版アセスメントシート(3種)をぜひ御活用ください。



「裏紙アセスメントシート(K-BPSシート)」

3種のうち、特にこのシートは、集まった教職員等が、その場で情報を共有し、困り感を抱える児童生徒のアセスメントを簡易的に行うときにお勧めします。

<経験に基づいた支援の流れ>



これまでの、児童生徒の抱える要因や課題の把握が不十分なまま、経験をもとにスピード感のある、担当者中心の支援プランが立てられてきたことが多かったのではないのでしょうか。

アセスメントには、多種多様な方法がありますが、課題を抱える児童生徒に、「その子にあった個別最適な支援」を確実に行っていくために、自校の状況を確認してみましょう。

<アセスメントを軸にした支援の流れ>

<p>K 学校の困り感・改善したいこと (欠席の状況等)</p> <p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・落ち着きがなく、授業妨害をする ・暴言が多く、教師に反発する ・不登校(欠席45、遅刻60) 	<p>B 【生物学的要因】身体面・健康面 睡眠・食事・運動・疾患・諸検査・特別な教育ニーズ・欠席状況等</p> <p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゲームをして睡眠不足 ・よく頭痛を訴える ・諸検査(SS)
<p>S 【社会的要因】社会面・環境面 児童生徒・教職員との関係、家庭環境、家族構成等</p> <p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家では礼儀正しく、甘える言動あり ・しつけが厳しい ・父母、弟(小3)、祖父 <p>※K-BPSに分けることにこだわらず、重複しても構いません。</p>	<p>P 【心理的要因】心理面 学力・情緒・感情・自己肯定感・精神面・興味関心・意欲等</p> <p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集中力が続かない ・言葉遣いが乱暴 ・目つきが急に変わる
<p>A アセスメント(事例の見立て)</p> <p>(例) BPSからの課題につながる仮説</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発達課題の可能性あり ・愛着課題の可能性あり ・子どもを取り巻く環境要因の課題 	<p>P プランニング (具体的な支援方針)</p> <p>(例) アセスメントに基づくプラン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校内での役割分担 ・課題に基づく個に応じた支援内容 ・関係機関への支援 ・不足情報の聞き取りの方法 <p>※5W1Hで具体的に</p>

★関連する過去のお役立ち情報★

お役立ち令和5年2月号
「生徒指導の構造
『2軸3類4層』を探る!」



お役立ち令和5年3月号
「チーム学校による
生徒指導体制」



※ 鳥取県版アセスメントシート(3種)は、「とっとり教育ポータルサイト」→「授業支援サイト(教職員用)」→「生徒指導・教育相談」よりダウンロード可能です。また、アセスメントシートの活用、チーム会議の実施等について、生徒支援・教育支援センターの「学校支援チーム」が学校等に出向き、直接支援することも可能です。詳しくは、上記サイト内のチラシをご覧ください。

